

# 大使館情報

2022年9月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（2022年8月の出来事）

#### 【内政】

- (1) 社会保障（アウシリオ・ブラジル等）の増額給付開始
- (2) モラエス選挙高等裁判所（TSE）新長官の就任式
- (3) 空港及び航空機内のマスク着用義務の解除
- (4) ボルソナーロ政権の支持率
- (5) 2022年大統領選関連（世論調査等）

#### 【外交】

- (1) フランサ外相のコロンビア訪問
- (2) ジャイシャンカル・インド外相のブラジル公式訪問
- (3) 中南米諸国との外相電話会談

### 3. トピックス

- (1) ゴイアス盆踊りの開催（8月26～27日）
- (2) 元国費留学生の会主催オンラインセミナーの実施（9月1日）
- (3) 林大使の第14回文協統合フォーラムへの参加（9月3日）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 9月7日（水）以降の日本入国時の水際措置の見直し
- (2) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (3) 外務省海外安全ホームページ
- (4) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢 (8月発表の経済指標) ※GDP成長率は9月発表

- (ア) 2022年第2四半期(4~6月)の実質GDP成長率は、前期比+1.2%(4四半期連続のプラス成長)、前年同期比+3.2%(6四半期連続のプラス成長)となった。
- (イ) 6月の鉱工業生産指数は前月比▲0.4%、前年同月比▲0.5%となった。
- (ウ) 6月の小売売上高は前月比▲1.4%、前年同月比▲0.3%となった。
- (エ) 7月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比▲0.68%となり、前月(+0.67%)から減少に転じた(1980年1月の統計開始以降で最大の減少幅)。直近12か月累計は+10.07%となり、前月(同+11.89%)から上昇幅は1.82%ポイント縮小した。
- (オ) 失業率(5~7月)は9.1%となり、3か月前(2~4月)の移動平均10.5%から1.4%ポイント低下。また前年同期比(2021年5~7月)の13.7%から4.6%ポイント低下した。
- (カ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査(Focus調査)について、8月26日時点で、GDP成長率予測については、2022年は+2.10%(前週から0.08%ポイント上昇)で、2023年は+0.37%(前週から0.02%ポイント下落)となった。インフレ率については、2022年は6.70%(前週から0.12%ポイント下落)で、2023年は5.30%(前週から0.03%ポイント下落)となった。

### (2) 経済政策等

- (ア) 8月24日、政府は工業製品税(IPI、連邦税)の税率引下げに係る政令を公布。4,000以上の品目に対する税率を35%引き下げるとともに、マナウスフリーゾーンの競争力を維持するため、同地域で生産される主要製品170品目については、税率引き下げの適用を除外するもの。
- (イ) 8月31日、政府は2023年予算案を議会へ提出。プライマリーバランスは637億レアルの赤字(対GDP比▲0.6%)となった。アウシリオブラジルでの給付金額は月405レアルとなる見込み。

### (3) 金融政策

8月2日及び3日に開催された伯中央銀行金融政策委員会(Copom)において、政策金利であるSelic金利を50bp引き上げて13.75%とすることが決定された。政策金利の引上げは2021年3月以降12回連続。次回会合は9月20日及び21日に開催予定。

#### **(4) 為替市場 (レートは伯中銀の公表値から算出)**

- (ア) 8月の為替市場は5.04～5.28 レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.05～5.28 レアル/ドルで推移。月初には地政学的リスクが意識され下落するも、ブラジルでの物価動向や世界経済を巡る動向等を材料に、概ね上昇傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は5.04～5.20 レアル/ドルで推移。欧米における金融政策を巡る動向等を材料に上下する展開となった。

#### **(5) 株式市場**

- (ア) 8月の株式市場は102,225～113,813 ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は102,225～113,032 ポイントで推移。ブラジルでの物価や金融政策を巡る動向等を材料に、概ね上昇傾向となった。
- (ウ) 月の後半は109,523～113,813 ポイントで推移。資源価格の動向等を材料に上下するも概ね横ばいでの推移となった。

## **2. ブラジル政治情勢 (8月の出来事)**

### **【内政】**

#### **(1) 社会保障 (アウシリオ・ブラジル等) の増額給付開始**

8月9日より、社会保障制度アウシリオ・ブラジル及び低所得家庭へのガスボンベ購入補助金の増額給付が開始された (前者は400 レアルから600 レアルに増額。後者は8月給付分110 レアルが給付)。また、同日よりトラック運転手への給付 (1000 レアル/1ヶ月)、8月13日よりタクシー運転手に対する給付 (1000 レアル/1ヶ月) も開始された。

#### **(2) モラエス選挙高等裁判所 (TSE) 新長官の就任式**

8月16日、アレシャンドレ・モラエス・選挙高等裁判所 (TSE) 長官の就任式が、政府・議会・法曹関係者等、約2000人が出席の下で、実施された。モラエス長官は、ファキン判事の後任として、2年の任期でTSE長官に就任した。また、同裁判所副長官には、リカルド・レヴァンドフスキ判事が就任した。

#### **(3) 空港及び航空機内のマスク着用義務の解除**

8月17日、国家衛生監督庁 (Anvisa) は、空港及び航空機内のマスク着用義務を解除した (今後とも空港及び機内のマスク着用は推奨される)。

#### **(4) ボルソナーロ政権の支持率**

8月31日、IPESPE社が公表した8月26日から29日にかけて、2000人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ボルソナーロ政権の支持率は、35% (前回

7月調査：32%）、不支持率は46%(前回調査：49%)となっている。

### **(5) 2022年大統領選関連**

#### **(ア) 選挙高等裁判所 (TSE) への候補者登録**

8月15日に2022年10月選挙の候補者登録が締め切られ、大統領選に関しては、ボルソナーロ大統領、ルーラ元大統領を含む12名の大統領候補（及びそれぞれ12名の副大統領候補）の登録申請が選挙高等裁判所 (TSE) に提出された。

#### **(イ) 世論調査**

8月31日、IPESPE社が公表した8月26日から29日にかけて、2000人を対象に実施した世論調査の結果によれば、第1回投票で投票したい人物はルーラ元大統領 (PT) が43% (前回7月調査：44%)、ボルソナーロ大統領 (PL) が35% (前回調査：35%) となっている。

## **【外交】**

### **(1) フランサ外相のコロンビア訪問**

8月5日～7日にかけて、フランサ外相はコロンビアを訪問し、ペトロ・コロンビア大統領就任式に出席した。また、レイバ・コロンビア外相と会談し、二国間アジェンダの主要テーマ、地域及び世界情勢上重要な案件について協議した。また、コロンビア滞在中にミゲル・ロドリゲス・マッケイ・ペルー外相及び、ゴメス・クラヴィーニョ・ポルトガル外相、セラコビッチ・セルビア外相と会談を実施した。

### **(2) ジャイシャンカル・インド外相のブラジル公式訪問**

8月23日及び24日、ジャイシャンカル・インド外相がブラジルを公式訪問し、伯印外相を議長とした政治・経済・科学技術・文化にかかる協力合同委員会が開催された。同委員会では、貿易投資、経済協力、ウクライナ情勢、食料・エネルギー安全保障、国連安保理関連のアジェンダの他、BRICS 及び IBAS (インド・ブラジル・南ア首脳会議) 等についても協議された。

### **(3) 中南米諸国との外相電話会談**

今月、フランサ外相は、ボリビア、エクアドル、ウルグアイ、パラグアイ、ガイアナ、ジャマイカ及びドミニカ共和国各国外相との電話会談を行った。ブラジル側からは、本年国際司法裁判所 (ICJ) 判事補欠選挙立候補者の紹介が行われた。

## **3. トピックス**

### **(1) ゴイアス盆踊りの開催 (8月26～27日)**

8月26日～27日、在ブラジル日本国大使館はゴイアス日伯協会 (ANBG) と共催で、ゴイアス盆踊り 2022 を同協会会館にて開催した。当日は大使館ブースにて、

館員が国費留学生等の案内を行った他、当館高野公使が開会の挨拶を行った。また、ブラジル政府側からはロジェーリオ・クルス・ゴイアニア市長やエドゥアルド・プラド州議員、日系人タレントのユージ・タマシロ氏が参加し、祭りを盛り上げた。

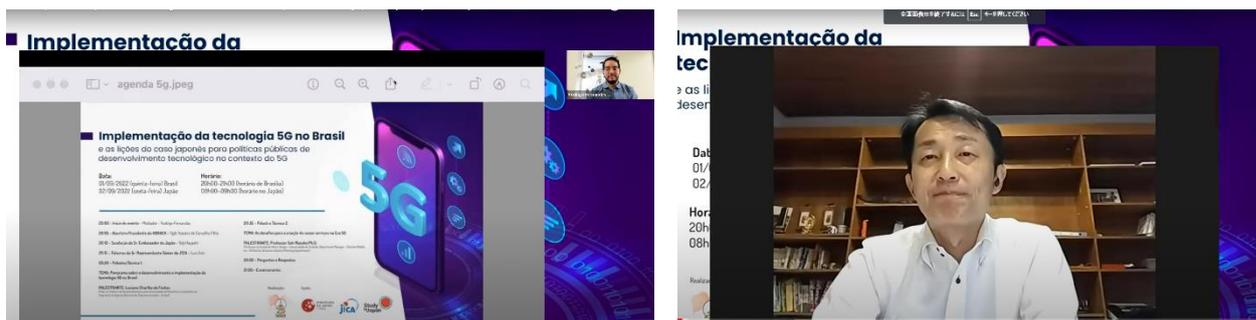
 [2日目の映像（日本大使館 YouTube チャンネルへのリンク）](#)



## （2）元国費留学生の会主催オンラインセミナーの実施（9月1日）

9月1日、元国費留学生の会（ABRAEX）主催のオンラインセミナー「ブラジルにおける5G技術の導入と日本の事例から得られる公共政策の教訓」が行われ、冒頭林大使が挨拶を行った。同セミナーにおいては元国費留学生で Anatel 勤務の Luciano Charlita de Freitas 氏、及び筑波大学の益子教授による講演が行われた。

 [セミナーの様子（ABRAEX YouTube チャンネルへのリンク）](#)



## （3）林大使の第14回文協統合フォーラムへの参加（9月3日）

9月3日、林駐ブラジル日本国大使はブラジル日本文化福祉協会が主催するオンラインイベント「第14回文協統合フォーラム」に参加し、日系社会から寄せられた質問に答え、若手日系人含む日系社会に向けてメッセージを送った。また、在サンパウロ総領事館の桑名総領事が、開会の挨拶を行った。

 [フォーラムの様子（文協 YouTube チャンネルへのリンク）](#)



#### **4. 大使館からのお知らせ**

##### **(1) 9月7日(水)以降の日本入国時の水際措置の見直し**

9月7日(水)午前0時(日本時間)以降、有効なワクチン接種証明書(注)を保持している全ての帰国者・入国者については、出国前72時間以内の陰性証明書の提出が不要となります。

[この水際措置の見直し詳細について](#)

(注) 有効なワクチン接種証明書とは  
[厚生労働省ホームページ](#)でご確認ください。

なお、有効なワクチン接種証明書を保持していない場合は、引き続き出国前72時間以内の陰性証明書(※1)の提出が必要ですので、ご注意ください。

検査証明書の様式については特に指定はなく、任意のフォーマットでご用意いただけますが、以下の項目が日本語または英語で記載されている必要があります。

- (1) 氏名
- (2) 生年月日
- (3) 検査法(有効な検査方法を参照)
- (4) 採取検体(有効な検体を参照)
- (5) 検体採取日時
- (6) 検査結果
- (7) 医療機関名
- (8) 交付年月日

##### **(2) 在伯公館 SNS リンク一覧**

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNSにて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています(以下リンク先をご参照ください)。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)  
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)  
在マナウス総領事館 : [facebook](#)  
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)  
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)  
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)  
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

### (3) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開しています。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開しています。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen\\_info/golgo13xgaimusho.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html)

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil\\_manual.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html)

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和4年度第1四半期）は以下のリンク先から。

[https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/kaigai\\_anzen\\_taisaku.html](https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html)

### (4) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2022年4月5日

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo_259.html)

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏

- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2022年8月1日

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2022年8月2日

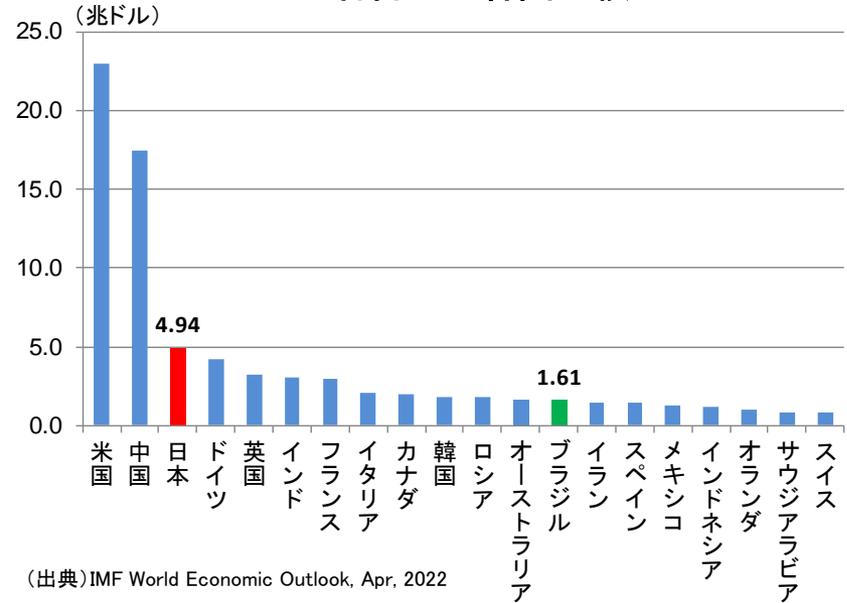
[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)

# ブラジル経済・二国間経済関係概観

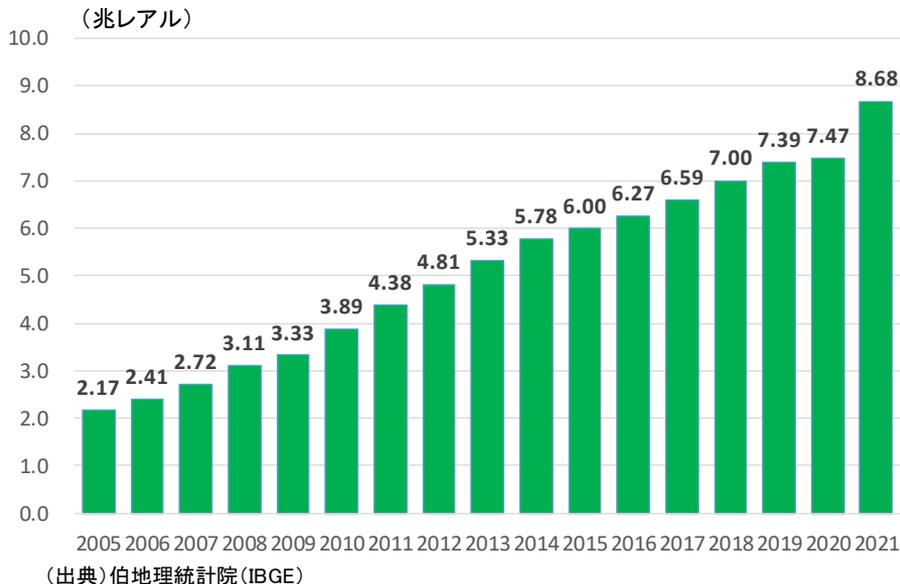
## 1. 経済構造

1. 人口約2億1,331万人、面積約851万km<sup>2</sup>(2021年)
2. 世界第13位の経済規模(名目GDP約1兆6,081億ドル(2021年):日本の約33%)。一人当たりGDP(約7,564ドル(2021年))は、日本の約19%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

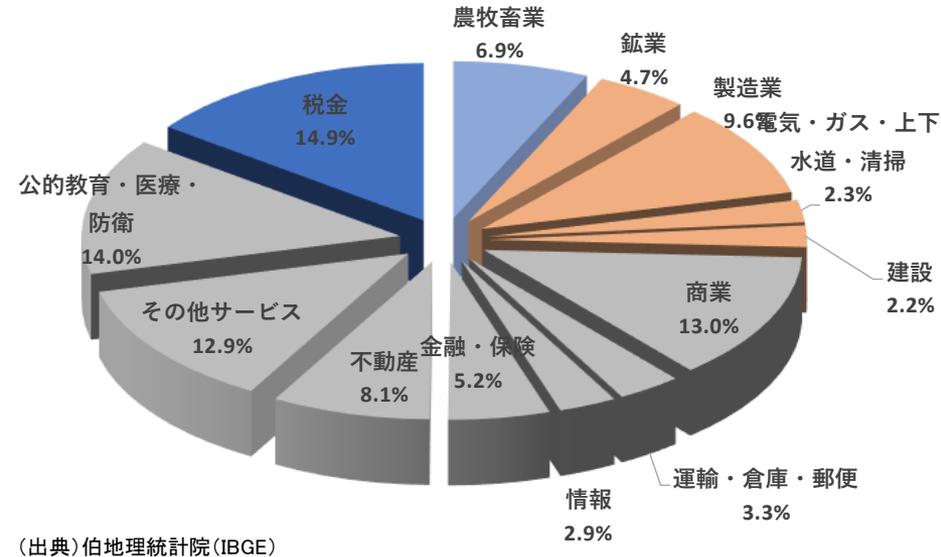
## 名目GDP各国比較



## 名目GDPの推移



## 名目GDPの産業別構成比(2021年)

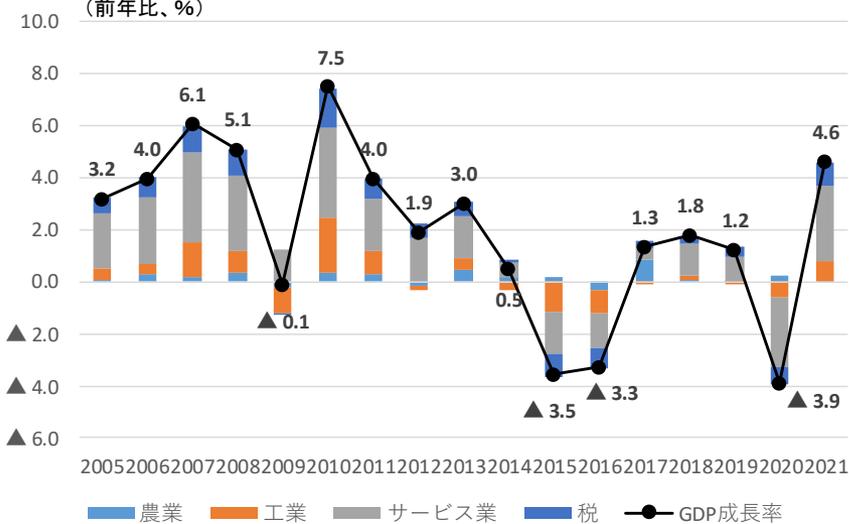


## II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が2022年9月に発表した2022年第2四半期の実質GDP成長率は、前期比+1.2%(4四半期連続のプラス)、前年同期比+3.2%(6四半期連続のプラス)となった。

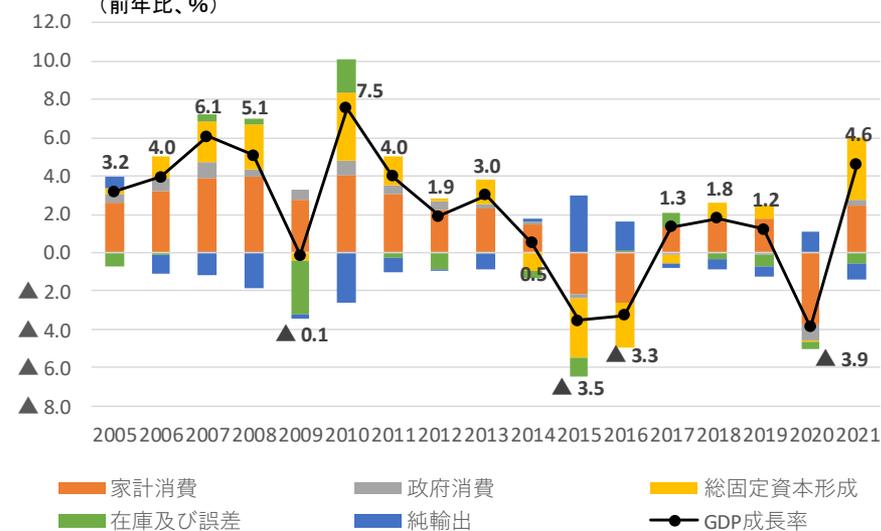
### 実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



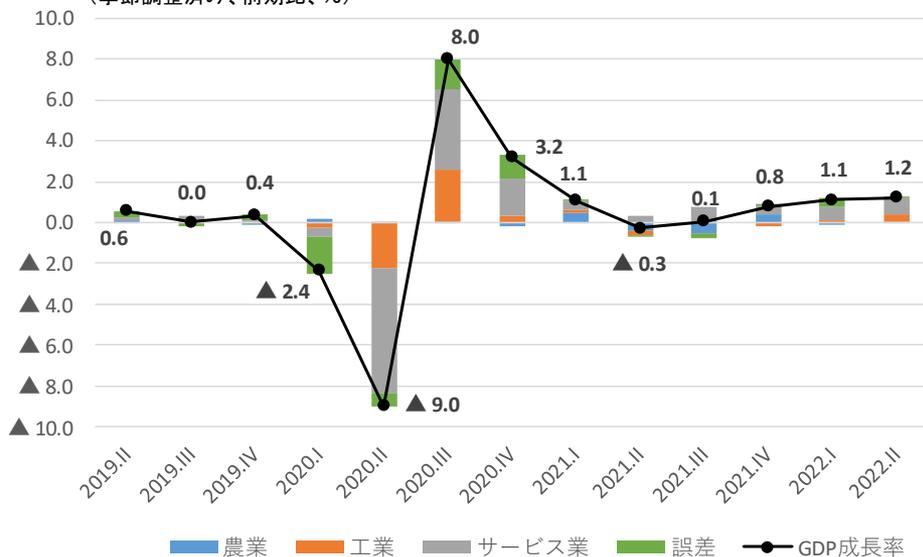
### 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



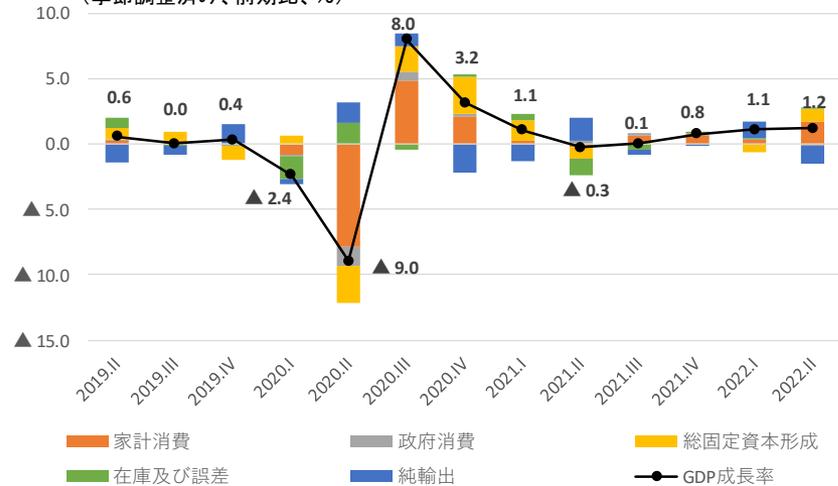
### 実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)

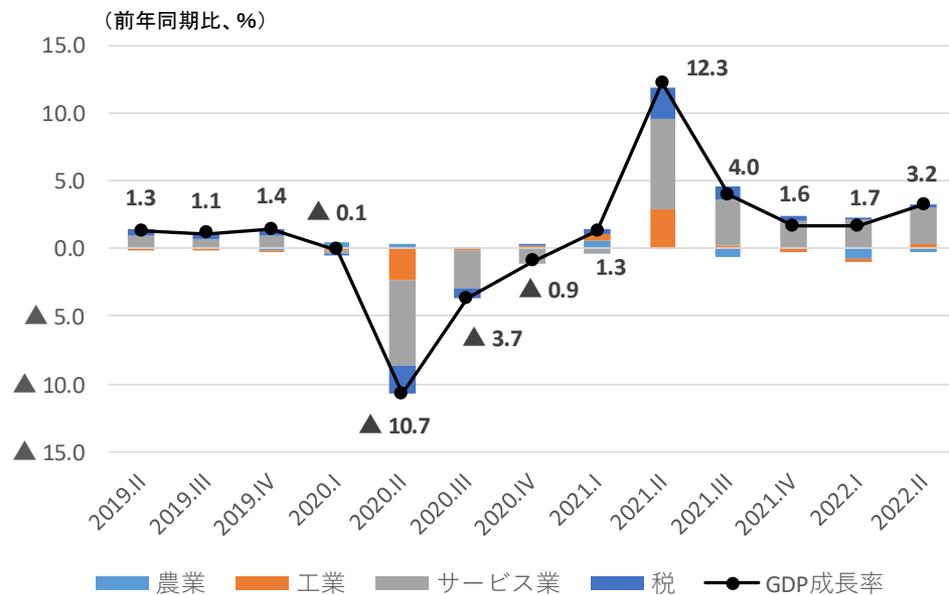


### 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

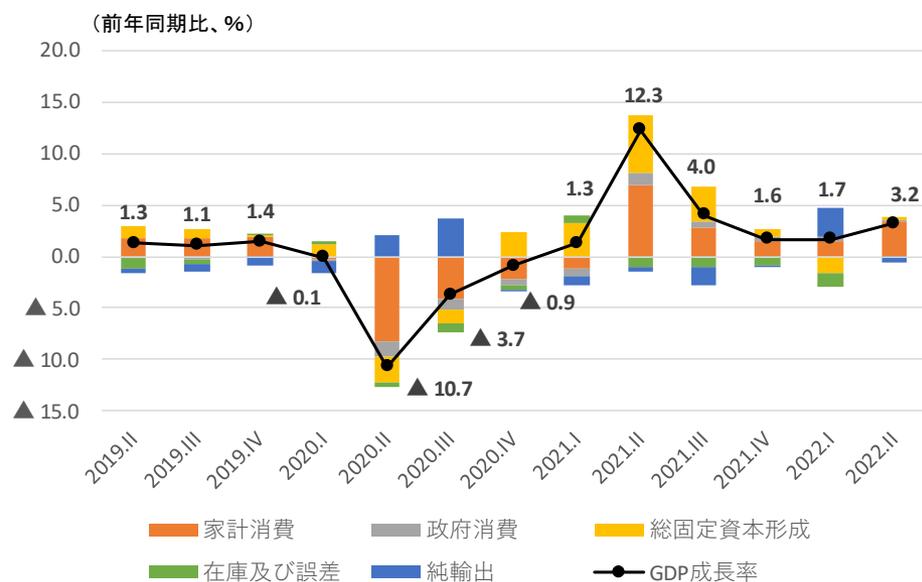
(季節調整済み、前期比、%)



## 実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



## 実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

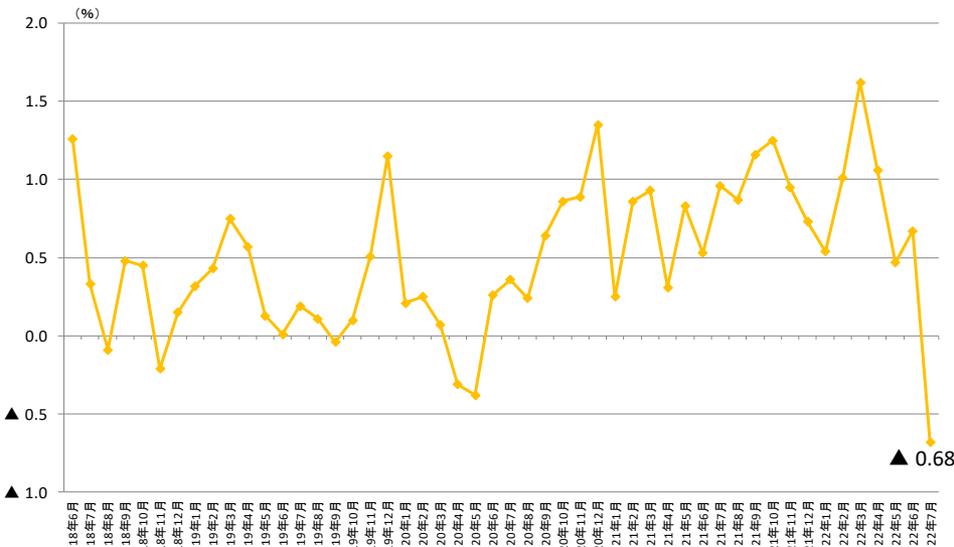
## 《各機関によるGDP成長率見通し》

	2022	2023
IMF (2022年7月)	+1.7%	+1.1%
伯経済省 (2022年7月)	+2.0%	2.5%
伯中銀 (2022年6月)	+1.7%	-
伯中銀Focus (2022年8月26日)	+2.10%	+0.37%

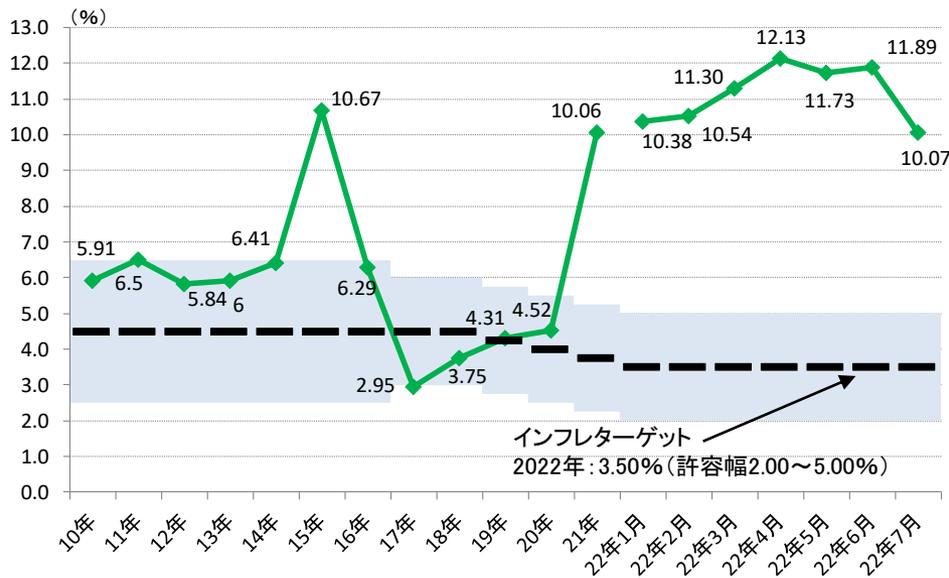
# 物価の動向

7月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比▲0.68%、直近12か月累計では10.07%となった。

## 拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



## 拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



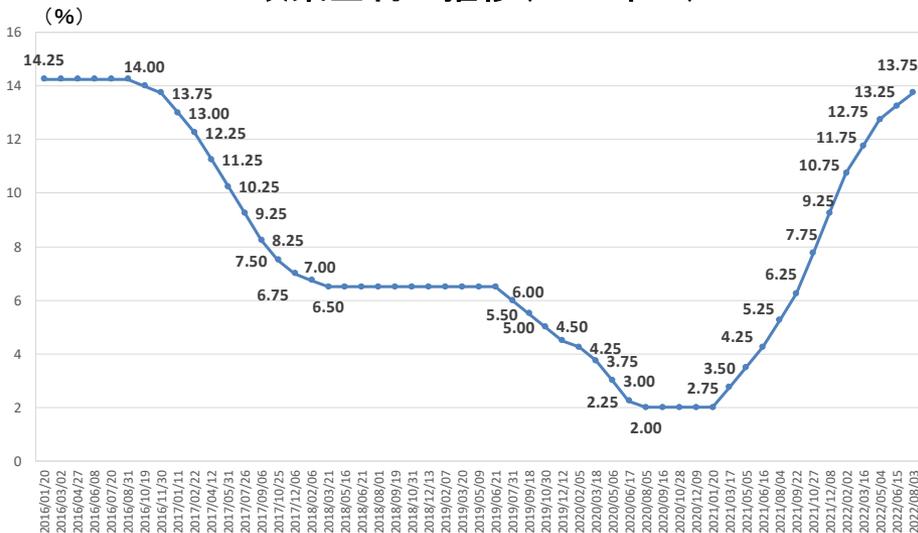
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

# 政策金利

8月2日及び3日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) において、政策金利であるSelic金利を50bp引き上げて13.75%とすることが決定された。政策金利の引上げは2021年3月以降12会合連続。次回会合は9月20日及び21日に開催予定。

## 政策金利の推移(2016年～)



(出典) 伯中央銀行 4

### 失業率の推移(3か月移動平均)

失業率(2022年5~7月)は9.1%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

### 小売売上高指数の推移(月次)

小売売上高(6月)は前月比▲1.4%、前年同月比▲0.3%となった。

(2014年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

### 鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(6月)は前月比▲0.4%、前年同月比▲0.5%となった。

(2012年=100、季調済)

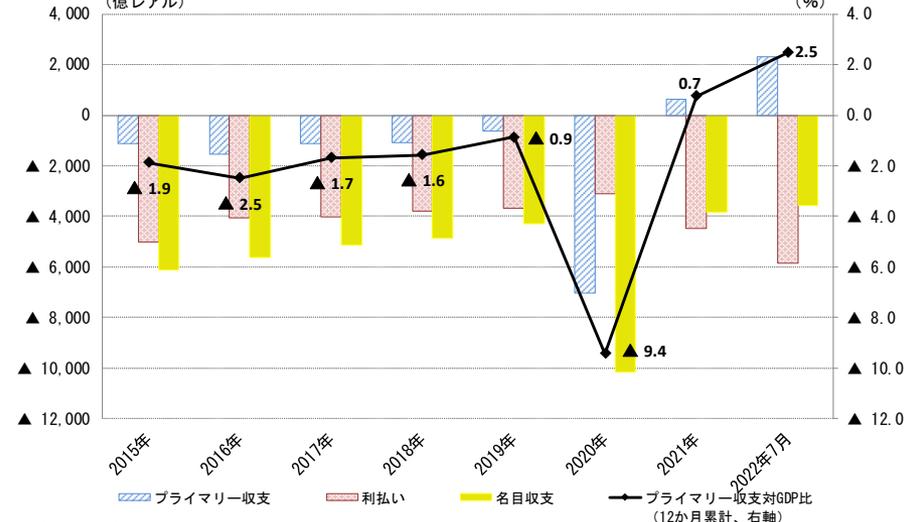


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

### 財政収支の推移

公的部門の2022年7月のプライマリーバランスは2,306億レアルの黒字、利払いは▲5,864億レアル、名目収支は▲3,559億レアルとなった。

(億レアル)



(出典) 伯中央銀行

# 国際収支の動向

## 国際収支

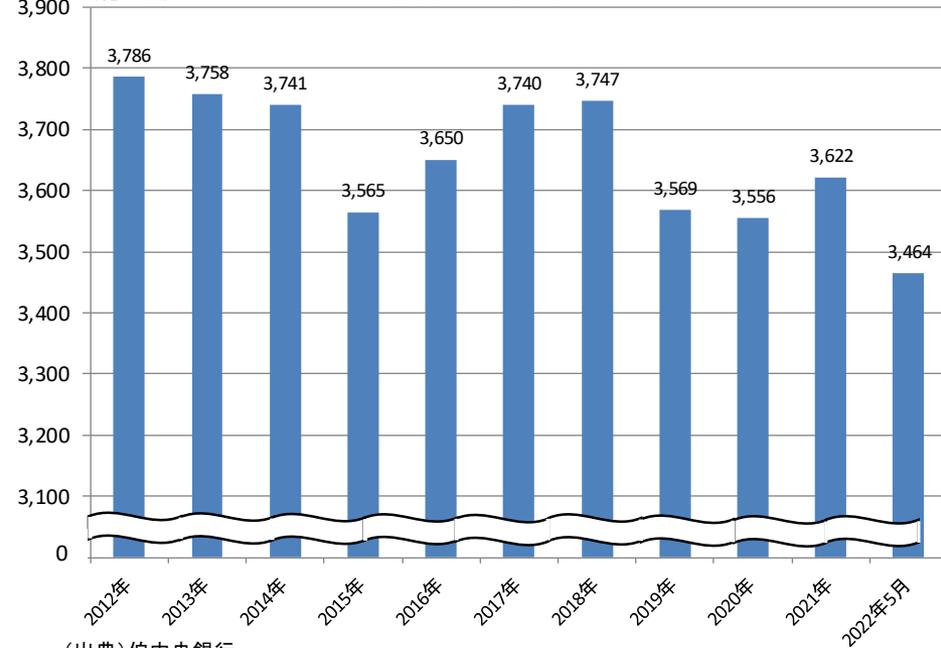
(億ドル)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 5月
経常収支	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 279	▲ 155
貿易収支	573	434	265	324	364	186
サービス収支	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 171	▲ 101
第1次所得収支	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 505	▲ 255
第2次所得収支	21	▲ 0	12	23	33	14
資本移転収支	4	4	4	41	2	1
金融収支	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 337	▲ 153
直接投資	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 273	▲ 263
対外直接投資	213	20	228	▲ 35	192	134
対内直接投資	689	782	692	378	464	397
証券投資	177	69	192	129	▲ 57	92
金融派生商品	7	28	17	54	▲ 10	▲ 13
その他投資	69	113	▲ 128	247	▲ 137	15

(出典) 伯中央銀行

## 外貨準備高

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

## 外国直接投資(資本参加分)流入額

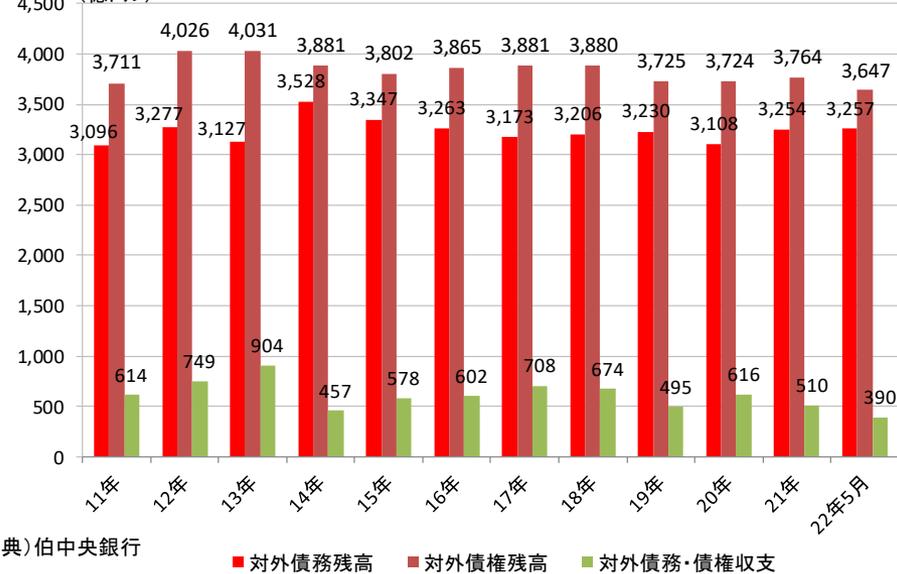
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

## 対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

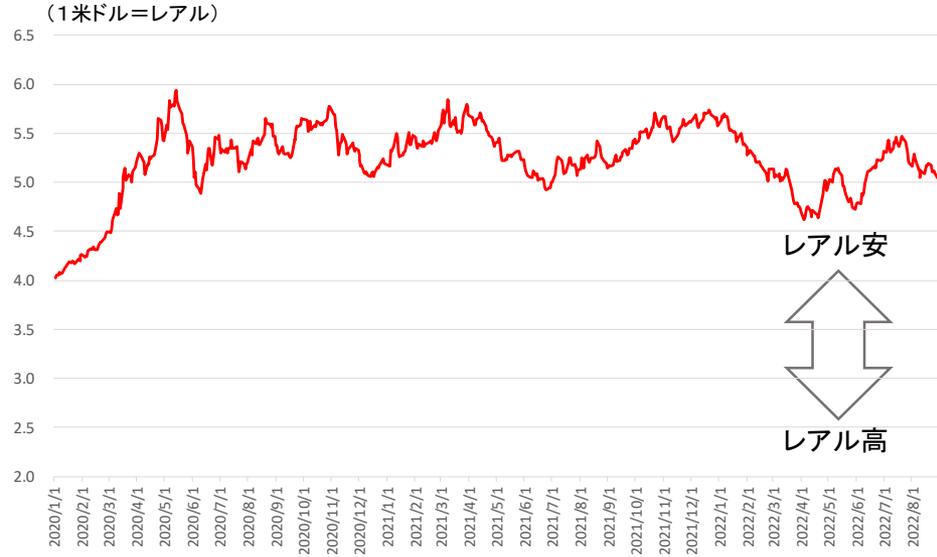
# 為替・株価の推移

8月の為替市場は5.04～5.28レアル/ドルで推移。

月の前半は5.05～5.28レアル/ドルで推移。月初には地政学的リスクが意識され下落するも、ブラジルでの物価動向や世界経済を巡る動向等を材料に、概ね上昇傾向で推移した。

月の後半は5.04～5.20レアル/ドルで推移。欧米における金融政策を巡る動向等を材料に上下する展開となった。

## 為替の推移(対米ドル)



(出典) 伯中央銀行

8月の株式市場は102,225～113,813ポイントで推移。

月の前半は102,225～113,032ポイントで推移。ブラジルでの物価や金融政策を巡る動向等を材料に、概ね上昇傾向となった。

月の後半は109,523～113,813ポイントで推移。資源価格の動向等を材料に上下するも概ね横ばいでの推移となった。

## 株価指数(Ibovespa)の推移



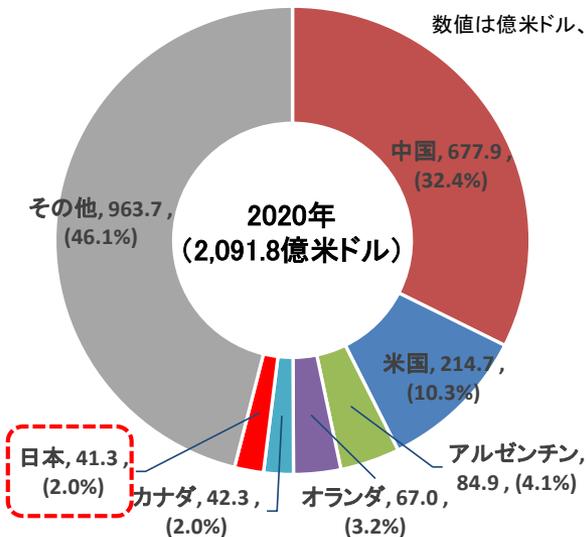
(出典) B3

### III. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2021年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で8位となっている。

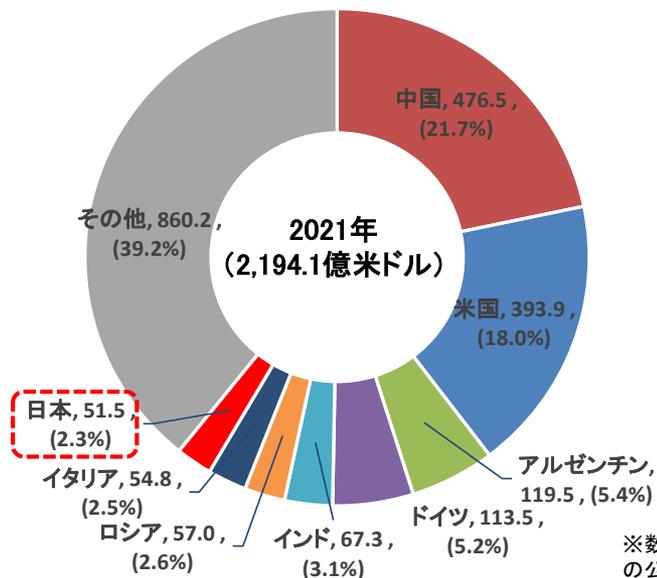
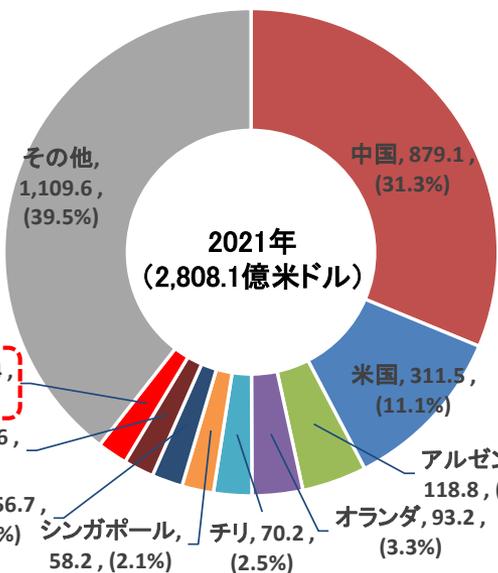
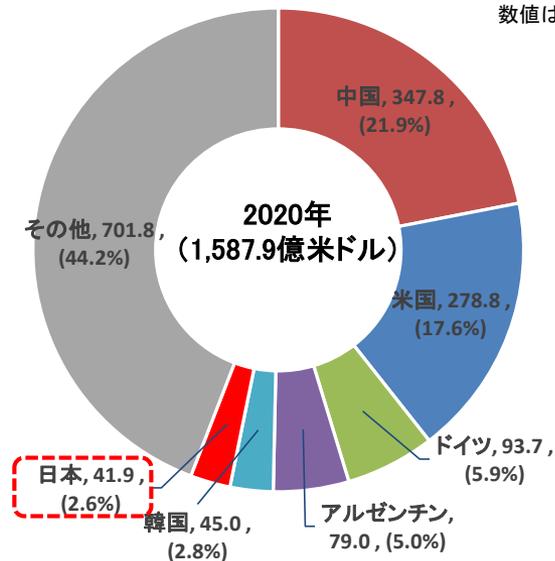
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比

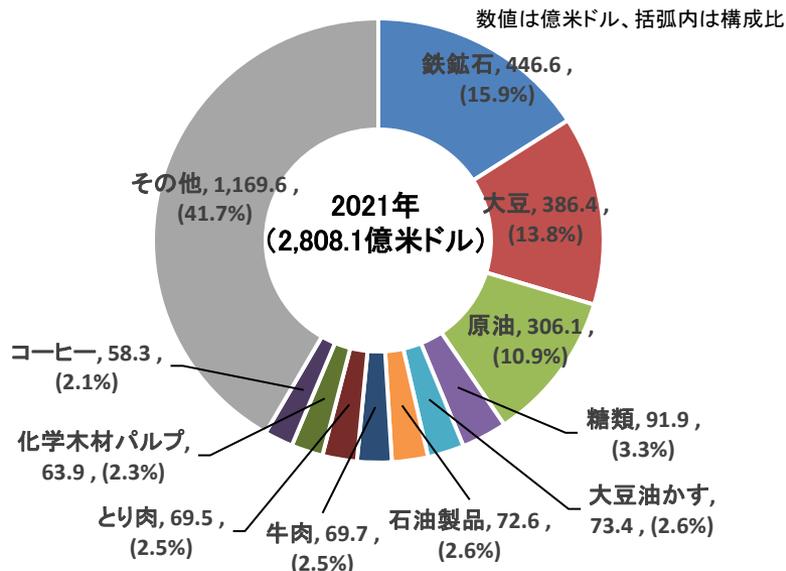


(出典) 伯経済省  
※数値は2022年2月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(鉄鋼石、原油等)、食品(大豆、肉類、糖類等)。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

## ブラジルの主要輸出品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



## 【鉄鋼石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	446.6	100.0
① 中国	288.4	64.6
② マレーシア	28.6	6.4
③ バーレーン	17.9	4.0
④ <u>日本</u>	17.9	4.0
⑤ オマーン	13.0	2.9

## 【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	386.4	100.0
① 中国	272.1	70.4
② スペイン	16.7	4.3
③ タイ	12.9	3.3
④ オランダ	12.0	3.1
⑤ トルコ	10.1	2.6

## 【原油】

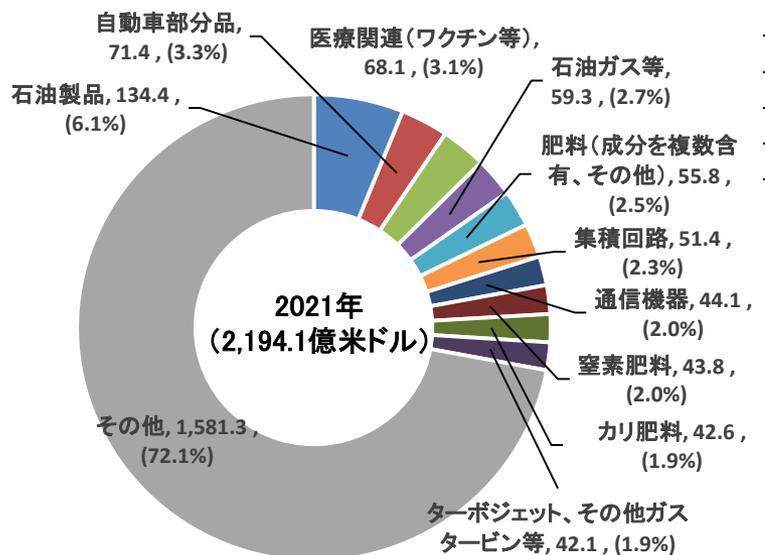
	億米ドル	構成比(%)
全体	306.1	100.0
① 中国	142.5	46.6
② 米国	30.8	10.1
③ インド	22.4	7.3
④ チリ	19.6	6.4
⑤ ポルトガル	16.3	5.3

## 【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
全体	91.9	100.0
① 中国	14.1	15.4
② アルジェリア	7.8	8.4
③ ナイジェリア	6.0	6.5
④ バングラデシュ	5.8	6.3
⑤ カナダ	4.4	4.8

## ブラジルの主要輸入品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



## 【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	134.4	100.0
① 米国	74.4	55.4
② インド	13.5	10.1
③ UAE	7.3	5.4
④ オランダ	6.4	4.7
⑤ スペイン	4.5	3.4

## 【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	71.4	100.0
① <u>日本</u>	9.3	13.1
② 中国	8.8	12.3
③ ドイツ	8.5	11.8
④ メキシコ	6.3	8.8
⑤ 米国	5.8	8.1

## 医療用品(ワクチン等)

	億米ドル	構成比(%)
合計	68.1	100.0
① 米国	23.7	34.9
② 中国	12.9	19.0
③ ベルギー	7.8	11.4
④ スイス	5.3	7.8
⑤ ドイツ	4.1	6.0

## 【石油ガス等】

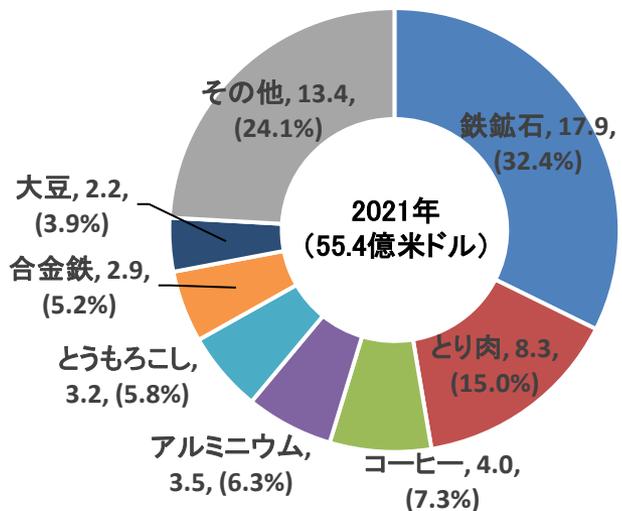
	億米ドル	構成比(%)
合計	59.3	100.0
① 米国	41.8	70.5
② ボリビア	12.1	20.3
③ アルゼンチン	2.8	4.7
④ トリニダードトバゴ	1.5	2.5
⑤ アンゴラ	0.5	0.8

# 対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（肉類、コーヒー、トウモロコシ、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

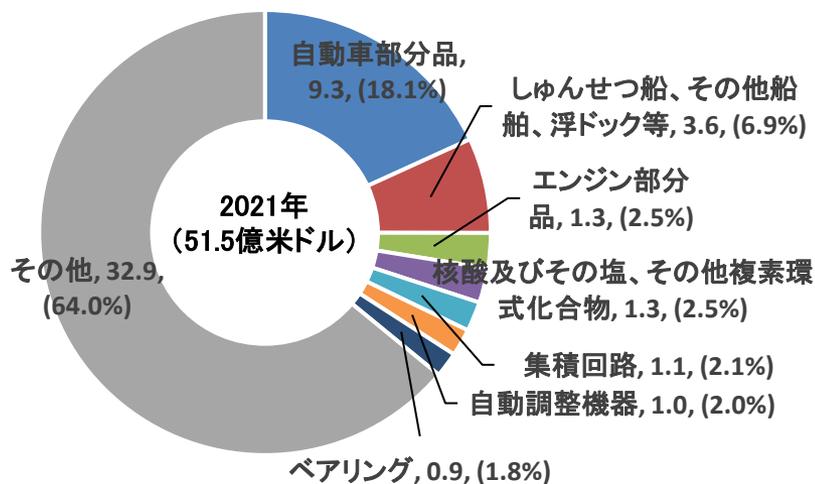
## ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



## ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯経済省

※数値は2022年2月時点の公表値から算出

## ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2021年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
<b>【鉄鉱石】</b>			<b>【とり肉】</b>			<b>【コーヒー】</b>			<b>【アルミニウム】</b>		
総計	19,656.0	100.0	総計	1,365.9	100.0	総計	1,447.3	100.0	総計	6,836.6	100.0
① オーストラリア	10,854.7	55.2	① <u>ブラジル</u>	889.5	65.1	① <u>ブラジル</u>	446.9	30.9	① ロシア	1,357.5	19.9
② <u>ブラジル</u>	5,592.5	28.5	② タイ	407.9	29.9	② コロンビア	228.8	15.8	② オーストラリア	1,120.3	16.4
③ カナダ	1,385.4	7.0	③ アメリカ合衆国	32.6	2.4	③ ベトナム	200.7	13.9	③ アラブ首長国連邦	1,088.7	15.9
④ 南アフリカ共和国	715.1	3.6	④ ハンガリー	15.9	1.2	④ グアテマラ	101.1	7.0	④ ニューゼaland	425.2	6.2
⑤ アメリカ合衆国	275.9	1.4	⑤ フランス	10.6	0.8	⑤ エチオピア	79.3	5.5	⑤ <u>ブラジル</u>	382.8	5.6
<b>【とうもろこし】</b>			<b>【合金鉄】</b>			<b>【大豆】</b>					
総計	5,199.6	100.0	総計	3,134.2	100.0	総計	2,276.9	100.0			
① アメリカ合衆国	3,779.6	72.7	① カザフスタン	657.4	21.0	① アメリカ合衆国	1,702.9	74.8			
② <u>ブラジル</u>	738.9	14.2	② 中華人民共和国	453.4	14.5	② <u>ブラジル</u>	320.2	14.1			
③ アルゼンチン	416.2	8.0	③ ロシア	396.0	12.6	③ カナダ	226.0	9.9			
④ 南アフリカ共和国	242.6	4.7	④ <u>ブラジル</u>	339.6	10.8	④ 中華人民共和国	26.2	1.1			
⑤ フランス	8.8	0.2	⑤ 南アフリカ共和国	307.7	9.8	⑤ ロシア	1.5	0.1			

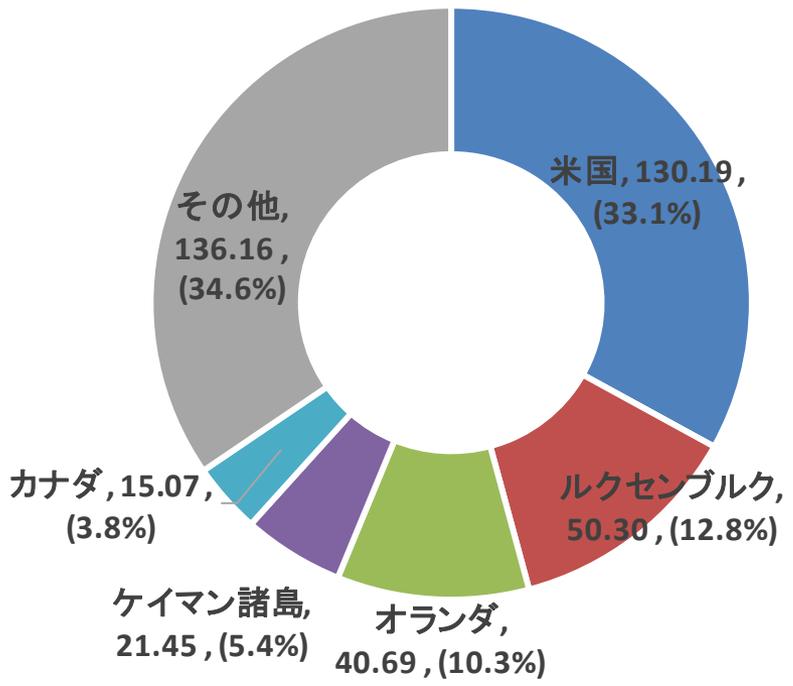
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェオアロイ)7202、大豆1201

(出典) 財務省(日本)  
※数値は2022年1月末時点の公表値から算出

# IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比  
総額393.86億ドル(2021年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比

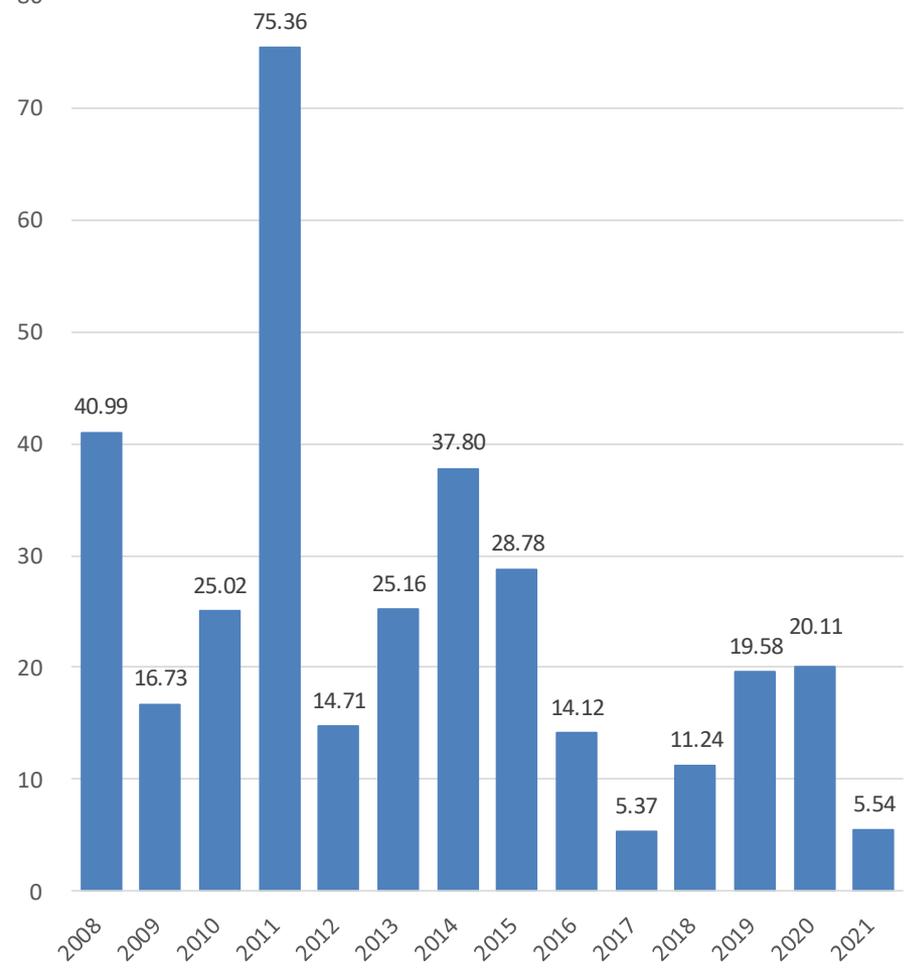


(出典) 伯中央銀行

2021年の日本の直接投資額(資本参加分)は5.54億ドルで構成比は1.41%と、17番目の規模。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

※ 中国: 2.35億ドル(0.44%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。